ＩＢＡＲＡＫＩネイティブコミュニケーションサポーターによる情報発信

外国人政策チーム

現状・課題

○　在留外国人の増加に伴い、言語、宗教、慣習等の違いから、日本の生活習慣・交通マナーが十分に理解されず、地域社会において円滑な共同生活を阻害する懸念や課題が一部で指摘されています。

○　県では、外国人コミュニティなどで活躍する方を「ＩＢＡＲＡＫＩネイティブコミュニケーションサポーター」として認定し、母語による相談・支援体制を整備しており、現在118名の方が活動しています。

○　サポーターの主な活動内容として、病院への付添いや役所等での手続きのアドバイスのほか、交通マナーや感染症対策といった生活に役立つ情報の外国人コミュニティへの周知など、幅広く活動しています。

【最新の情報はこちら】https://www.pref.ibaraki.jp/seikatsukankyo/josei/kenmin/supporter.html

今後の対応

○　今後、サポーターを通じて日本の生活習慣やマナーに関する情報も周知を図るとともに、サポーターのさらなる増員を図り、地域との繋がりを強化し、日本人と外国人との信頼関係の構築が図れるよう、活動を支援していきます。

問合せ先

外国人政策チーム
電話：０２９－３０１－２１７４
電子メール：tasui1@pref.Ibaraki.lg.jp